

明和町産学官連携 日本酒プロジェクト

メンバー数：26名 活動場所：明和町
実施主体：明和町防災企画課
担当教員：千田 良仁（現代日本社会学部）
活動年度：H28, H29, H30, R1

- ・ 朔日バルへ出店
- ・ 朔日バルへ出店
- ・ 伊勢朝日酒造 仕込み手伝い
- ・ 朔日バルへ出店
- ・ アグリビジネス創出フェア2019へ出店
- ・ 「新感謝祭の秋祭り」へ出店
- ・ おかげ横丁朔日朝市出店へ出店
- ・ 朔日バル出店へ出店
- ・ おかげ横丁朔日朝市出店へ出店
- ・ 全国高校生SBS交流フェアへ出店
- ・ 齋王まつりへ出店
- ・ 朔日バルへ出店
- ・ 齋王まつりへ出店
- ・ お田植祭
- ・ 伊勢志摩のミサミットへ出店
- ・ おかげ横丁朔日朝市へ出店
- ・ 朔日バル

2019

5

6

7

8

10

11

12

1

2

3

日本酒の販売が3年目となった今年度は様々なことに挑戦しました。前年度の活動の経験をもとに、産学官連携日本酒プロジェクトの学生メンバーである私たちが活動すべきことは何か考えながらの一年でした。

例年通り、来年度の日本酒になる酒米を植える、お田植祭を5月に行いました。お田植祭は、田植の前に皇學館大学の雅楽部と祭式研究部に来ていただき、神道のお祭りを執り行った。「神都の祈り」を知ってもらいたいと、昨年を引き続いておかげ横丁の朔日朝市、伊勢市駅前の朔日バルというイベントにも出店させていただきました。朝市や朔日バルでは、継続して出店することで、「神都の祈り」に興味を持ってくださる方々と多くコミュニケーションを取ることができました。

今年を振り返ると、色々なイベントに参加した1年でした。特に今年度は「販売」に力を入れました。販売で学んだことは、「神都の祈り」の強みを理解することの大切さです。お客様に商品を勧めるために、「神都の祈り」についてメンバー一人一人が理解を深めることが大切だと学びました。そして、何よりも大切なのは体験をもとに自分の言葉で商品をお勧めするということです。

今後の活動に生かしていきたいことは、今年度は「販売」を頑張ったので、来年度は販売を基礎に新しいことに挑戦していける1年になればよいと考えています。そして、「神都の祈り」を一緒に活動していく仲間の和を広げていける1年にするのが来年度の抱負です。

「販売」を通して“おもしろい人”たちに会うことができます。自分の価値観や視野を広げる機会になると思います。



▲ お酒の仕込み



▲ お田植え祭